

令和7年度 第1回社会教育委員の会議

令和7年7月14日（月） 午後1時30分～3時
中央生涯学習センター5階人材かがやきセンター研修室



- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 宇都宮市社会教育委員について
- 5 議事
正副委員長選出
報告事項
 - (1) 令和6年度「第3次宇都宮市地域教育推進計画」後期計画の実績評価について
 - 協議事項
 - (1) 令和7年度栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員の選出について
 - (2) 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について
- 6 その他
 - (1) 「宇都宮市電子図書館」児童書読み放題パックの導入について
 - (2) 令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの開催概要について
 - (3) 今後のスケジュール
- 7 閉 会

次 第

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

宇都宮市社会教育委員名簿

任期:令和7年7月1日~令和9年6月30日

1	岡村 安将	宇都宮南高等学校長 (栃木県高等学校長会宇都宮支部)	11	齋藤 美知枝	宇都宮市青少年指導員会会長
2	二宮 清美	瑞穂野中学校長(宇都宮市中学校長会)	12	前田 秀美	泉が丘小学校宮っ子ステーション 推進委員会会長
3	青木 孝浩	清原中央小学校長 (宇都宮市小学校長会)	13	鈴木 千明	家庭教育支援活動者
4	今井 政範	認定こども園さくらが丘理事長 (宇都宮地区幼稚園連合会)	14	川島 芳昭	宇都宮大学教授
5	佐藤 弘大	一般社団法人宇都宮青年会議所理事長	15	河田 隆	宇都宮共和大学教授
6	小林 純枝	宇都宮市スポーツ協会副会長	16	佐々木 一隆	宇都宮大学名誉教授
7	松本 弘元	宇都宮市文化協会副会長	17	丸山 純一	文星芸術大学教授
8	石塚 勝	宇都宮市子ども会連合会会長	18	増渕 幸男	上智大学名誉教授
9	福田 治久	宇都宮市PTA連合会会長	19	中塚 英範	市議会議員
10	小松 整洸	宇都宮市地域まちづくり協議会副会長	20	矢古字 芳一	市議会議員

4 宇都宮市社会教育委員について

職務

社会教育に関する計画を推進することや、教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関し意見を述べるもの
(社会教育法第17条)

委員構成

20名 (学校教育関係者4名 社会教育関係者8名 家庭教育関係者1名 学識経験者7名)
(宇都宮市社会教育条例第3条及び第4条)

任期

2年 (令和7年7月1日～令和9年6月30日)
(宇都宮市社会教育条例第5条)

会議回数

2回 (7月・2月)

○ 主な協議事項

- ・ 第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画について
- ・ 社会教育関係団体に対する補助について
- ・ 社会教育行政の基本方針及び重点施策について など

○ これまでの協議事項

- ・ 昭和57年度(建議)「地域社会における青少年教育のあり方について」
- ・ 昭和59年度(答申)「多様化,高度化する社会に対応した公民館の機能と組織体制について」
- ・ 昭和63年度(答申)「成人の日の行事について」
- ・ 平成 2年度(答申)「生涯学習推進に伴う公民館のあり方について」
- ・ 平成 4年度(答申)「成人の日の行事のあり方について」
- ・ 平成12年度(意見書)「生涯学習社会における今後の公民館のあり方について」
- ・ 平成13年度(意見書)「(仮称)宮っ子育成の日について」
- ・ 平成18年度(意見書)「家庭と地域の教育力向上に関する意見書」
- ・ 平成22年度(答申)「宇都宮市における今後の「成人教育」のあり方について」
- ・ 平成26年度(提言)「社会の要請」と求められる学習について
- ・ 令和 元年度(答申)「成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方等について」
- ・ 令和 3年度(提言書)「『社会の要請』と課題解決に向けた取り組みについて」

5 議事

正副委員長選出

5 議事 報告事項(1)

令和6年度「第3次宇都宮市地域教育推
進計画後期計画」の実績評価について

「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に関する施策事業の実績評価について

○ 趣旨

令和5年2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」（以下「本計画」という。）の計上事業における令和6年度の事業実績を踏まえた評価と取組方針について協議するもの

1 計画の位置づけ

本計画は、「第6次宇都宮市総合計画基本計画」の分野別計画であるとともに、本市における「人づくり」の指針である「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の基本的考え方や方向性を受けた、社会教育行政において最も基本となる計画である。

2 計画期間

本計画は平成30年を開始年次とし、令和9年を目標年次とする10か年の計画であり、令和4年度に中間見直しを行い、後期計画の策定を行った。

（前期計画平成30年～令和4年・後期計画令和5年～令和9年）

3 計画の進行管理

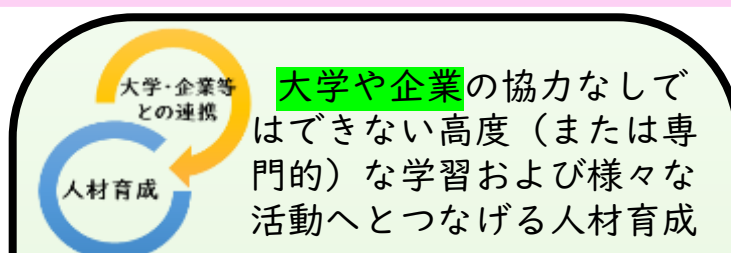
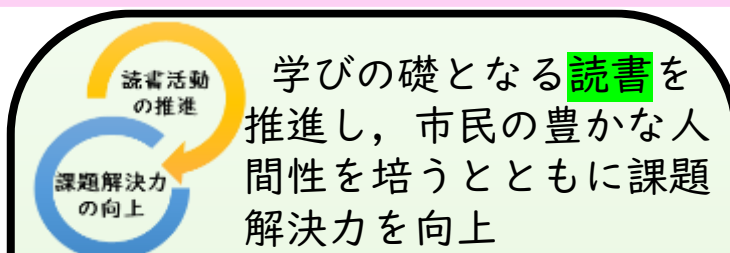
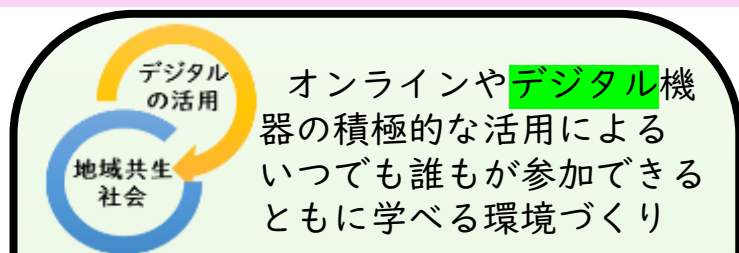
本計画に関連する各種施策・事業について、事業を所掌する関係課においてその取組実績を定量的に把握・評価を行うとともに、教育委員会の附属機関である「社会教育委員の会議」に報告し、意見を聴取することとし、効果的な推進を図るものとする。

「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に関する施策事業の実績評価について

4 計画の体系・・・参考|「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」の概要

基本理念

『学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する。』



基本目標Ⅰ

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

基本目標Ⅱ

地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

基本目標Ⅲ

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

基本目標Ⅳ

学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める環境が整っています。

○ 事業評価

施策・事業については、令和6年度の目標値に対する達成率に応じ、以下のとおりの進捗とする。

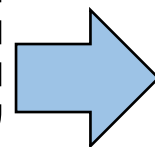
目標値の達成率	進捗
100%以上	計画以上
70%～100%未満	計画どおり
70%未満	計画より遅れ
やむを得ない事情により適正な評価ができない (感染症の流行や制度設計中など)	評価困難

○ 基本目標の評価

基本目標の実現に向けて取り組んでいる施策・事業の進捗状況を3段階（計画以上（100点），計画どおり（80点），計画より遅れ（60点））で点数化し，その合計した点数から事業数で除して基本目標全体の平均値を算出

【例】

構成事業が8つあり，計画以上が4事業，計画どおりが3事業，計画より遅れが1事業の場合
 $(100点 \times 4 + 80点 \times 3 + 60点 \times 1) \div 8 = 87.5点$



平均値の点数から下記の表により評価を実施

基本目標の合計点数	評価
90点以上	順調
75点以上90点未満	概ね順調
75点未満	順調でない

例 75点以上90点未満なので【概ね順調】

○ 基本指標の評価

「基本目標」ごとの達成状況を数値で示す「基本指標」については，目標値に対する達成率に応じて3段階（100%以上（順調），70%～100%未満（概ね順調），70%未満（順調でない）で評価）

目標値の達成率	評価
100%以上	順調
70%～100%未満	概ね順調
70%未満	順調でない

基本目標 I 個人の主体的な学習活動

【基本目標 I】一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

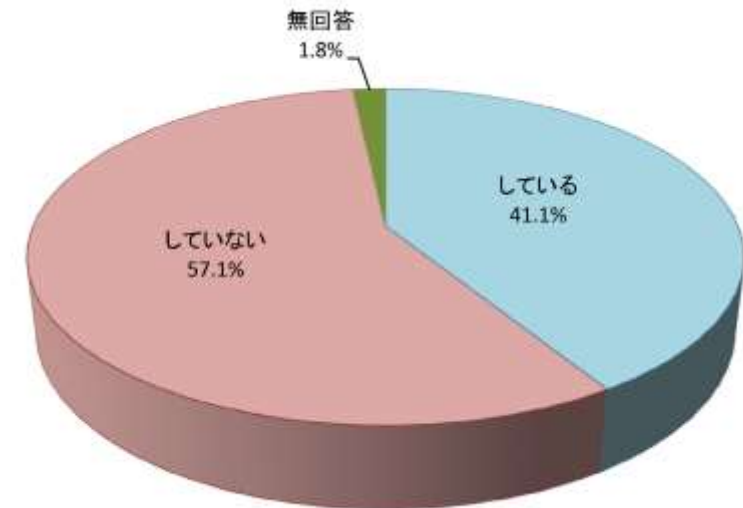
○ 基本目標の評価:3施策24事業(うち重点事業4事業)

評価	事業数(重点)
計画以上	19(3)
計画どおり	4(1)
計画より遅れ	1(0)
計	24(4)

24事業のうち、
計画以上が20事業、計画どおりが3事業、計画より遅れが1事業
 $(100点 \times 19 + 80点 \times 4 + 60点 \times 1) \div 24 = 95.0点 \Rightarrow$ **順調**

《基本指標 I》主体的に学習に取り組んでいる市民の割合

年度	R3	R5	R6	R9
目標	基準値	29.1%	34.3%	50.0%
実績	23.9%	38.5%	41.1%	
評価	—	順調	順調	



n=455

基本目標Ⅰ 個人の主体的な学習活動

◆ 重点事業

施策	事業名	【事業評価】	● R6事業内容	➤ R7取組方針	進捗
①学習意欲の向上に資する取組の推進	1 生涯学習センター等における学習機会の充実	【生涯学習センター等における講座の受講者数】 R 6 実績：32,371人／目標：35,000人	● 企業や大学と連携した講座や、多世代で交流できる講座など多様な学習機会を提供 ➤ 仲間づくりにつながる講座や生活・社会的課題の解決に資する講座など興味を持ちやすい内容や、参加しやすい開催日時等を工夫しながら開催		計画どおり
	2 デジタル技術を活用した学習，読書機会の充実	【デジタル技術を活用し提供した学習機会】 R 6 実績：42回／目標：25回	● Zoomを活用したオンライン講座の実施やYouTube等での講座の動画配信 ➤ 学習機会の充実に向けて講座の動画配信や電子図書館の活用		計画以上
②社会性を高める学習の推進	8 コミュニケーション力向上学習の推進	【参加交流型学習の実施回数】 R 6 実績：60回／目標：50回	● 参加交流型学習の積極的な実施によるコミュニケーション力の向上や交流機会の充実 ➤ 引き続き「仲間づくり」につながる講座を実施		計画以上
③社会的課題に対応した取組の推進	9 情報教育の推進	【スマホ，パソコンなどを使って学ぶ講座の受講者数】 R 6 実績：999人／目標：540人	● スマホ基礎講座のほか，公共施設予約システム，地域内交通予約・配車システムなど本市のwebサービスの利用方法を説明する講座を実施 ➤ 引き続きスマホ基礎講座の実施などのデジタルディバイド対策に取り組む		計画以上

基本目標Ⅰ 個人の主体的な学習活動

◆ 計画より遅れが生じている事業

施策	事業名	【事業評価】 ● R6事業内容 ➤ R7取組方針	進捗
② 社会性を高める学習の推進	12 子どもの体験活動・体験学習機会の充実 ◆ 小学校4年生～6年生を対象に、自分の将来の夢を見つけるきっかけを提供するため、職業体験「宮っこトライ」を実施するもの	<p>【宮っこトライの参加人数】 R6実績：333人／目標：800人</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生が参加しやすい土日は、小売・飲食店を中心とした接客業の繁忙と重なり受入の枠が少なく、体験日のメインが夏休みなど長期休業中の平日に偏ってしまい、参加人数が伸び悩む原因となっていることなどから、協力事業者の更なる確保を図るとともに、参加する小学生の増加を図る必要がある 	計画より遅れ
		<ul style="list-style-type: none"> ● 職場体験協力事業者の確保と併せて、参加者である小学校4年生～6年生に対してチラシを配布するなど事業周知に努めた ➤ 小学生における体験機会の創出や職業観の醸成に向け、商工会議所や商工会などと連携しながら「宮っこトライ」協力事業者の更なる拡充を図る ➤ 保護者世代が情報を収集しやすいよう、メールやSNS等のデジタルを活用して宮っこトライ専用のホームページに誘導し、参加申込の増加を図る 	

【令和6年度の評価】

- ・ 企業や大学等と連携した講座や、幅広い世代を対象とした講座を実施するなど市民の学習意欲を高める多様な学習機会の提供に取り組むことで24事業のうち20事業が「計画以上」となった。
- ・ デジタルディバイト対策については、本庁舎や各地区市民センター、図書館にデジタル活用支援窓口を設置するとともに、すべての生涯学習センターでスマホ基礎講座を実施したほか、本市のwebシステムの利用方法を説明する講座を実施した。
- ・ 読書活動の推進については、「うつのみやこども賞40周年記念事業」として記念式典の開催や全図書館での巡回展の実施、「ライトライン開業1周年記念事業」として記念しおりを配布するなど、市民の読書意欲を喚起させる取組を行った。
- ・ これらの取組から、基本指標である「主体的に学習に取り組んでいる市民の割合」が増加し、目標値を上回った。

【今後の取組方針】

- ・ 引き続き、企業・大学との連携や幅広い世代を対象とした講座を実施するとともに、働き世代や子育て世代などが学習しやすいようにオンラインを活用した講座を展開するなど、多様な市民ニーズに合わせた学習機会の提供に取り組む。
- ・ 電子図書館においては、“いつでも・待たずに・何人でも”利用が可能な、小中学生向けの児童書読み放題パックを導入するなど、より一層の読書活動の推進に取り組む。

基本目標Ⅱ 地域全体が連携・協力した教育活動

【基本目標Ⅱ】地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

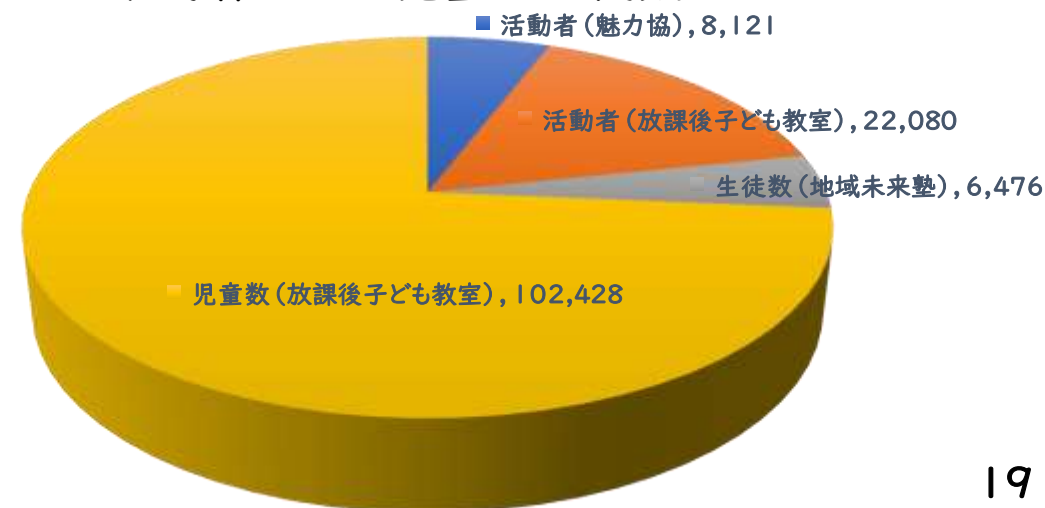
○ 基本目標の評価：2施策14事業（うち重点事業3事業）

評価	事業数(重点)
計画以上	8(2)
計画どおり	5(1)
計画より遅れ	1(0)
計	14(3)

14事業のうち、
計画以上が8事業、計画どおりが5事業、計画より遅れが1事業
 $(100点 \times 8 + 80点 \times 5 + 60点 \times 1) \div 14 = 90.0点 \Rightarrow$ **順調**

《基本指標Ⅱ》地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者および児童・生徒数

年度	R3	R5	R6	R9
目標	基準値	97,080	116,701	170,000人
実績	81,171人	132,363	139,105	
評価	—	順調	順調	



基本目標Ⅱ 地域全体が連携・協力した教育活動

◆ 重点事業

施策	事業名	【事業評価】	● R6事業内容	➤ R7取組方針	進捗
④ 家庭教育支援の推進	23 「親学」の推進	【親学出前講座の実施件数】 R 6 実績：81件／目標：90件	● 家庭の教育力の向上を図るため、保護者が集まる機会を捉えた親学に関する講話等の実施や情報誌の発行等 ➤ SNS等を活用した周知を行うとともに、実施時間や講座内容などが申込者の要望に沿ったものとなるよう、講座の充実を図る		計画どおり
	24 家庭での読書習慣を育む取組の充実	【乳幼児対象事業への参加者数】 R 6 実績：1,617人／目標：1,500人	● 図書館において「0・1・2歳児向けおはなし会」や「あかちゃんタイム」を実施 ● 生涯学習センターでは「はじめてえほん事業」として読み聞かせ体験を実施 ➤ 引き続き、図書館やセンター図書室との連携を図りながら事業を実施		計画以上
⑤ 地域ぐるみによる教育活動の充実	29 魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実	【魅力ある学校づくり地域協議会による活動回数】 R 6 実績：22,522回／目標：21,170回	● 協議会ごとに、実施手法などを工夫することにより地域ぐるみの子育てや地域の教育力による協議会活動を実施 ➤ 地域の子どもたちを心豊かにたくましく育むため、今後も地域の特色を生かした多様な活動を継続的に実施		計画以上

基本目標Ⅱ 地域全体が連携・協力した教育活動

◆ 計画より遅れが生じている事業

施策	事業名	【事業評価】 ● R6事業内容 ➤ R7取組方針	進捗
④ 家庭教育支援の推進	26 アウトリーチ型家庭教育支援の推進 ◆ 家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育支援を必要とする保護者等に対して、アウトリーチ型支援「おやがく相談」を行うもの	【アウトリーチ型家庭教育支援相談件数】 R6実績：4件／目標：6件 [課題] ● 保護者に寄り添った家庭教育支援のため、アウトリーチ型の家庭教育支援の周知に、より一層取り組む必要がある ● 関係課と連携した事業の周知や相談事業に取り組むなど、きめ細やかな家庭教育支援を実施 ➤ 情報誌やSNSを活用した周知を積極的に行うとともに、講座などに参加が困難な保護者にも参加しやすい小中学校等での行事に合わせた能動的なアウトリーチ型支援を実施し、相談窓口の拡充を進める	計画より遅れ

【令和6年度の評価】

- ・ 家庭教育や親学の推進，地域における魅力ある学校づくり地域協議会や宮っ子ステーション，子育てサロンなど地域・学校・家庭が，子どもたちの教育活動を支える取り組みや基盤づくりを積極的に行ったことなどから，14事業のうち8事業が「計画以上」となった。
- ・ 地域と連携のもと新たに1校で放課後子ども教室を立ち上げたほか，地域未来塾の実施校の拡充に向け学習支援モデル事業を1地域で実施するなど，地域ぐるみによる教育活動の充実を図ったことにより，基本指標「地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者および児童・生徒数」が増加し，目標値を上回った。

【今後の取組方針】

- ・ 家庭教育支援の充実に向け，引き続き出前講座を活用した親学や家庭での読書推進に取り組むとともに，SNSなどを活用した周知啓発に取り組む。
- ・ 地域ぐるみによる教育活動の充実に向けては，地域の実情に応じた支援や担い手の確保・育成を継続して行っていく必要があることから，引き続き地域のニーズに合わせた支援を行っていく。

基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

【基本目標Ⅲ】多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

○ 基本目標の評価:3施策22事業(うち重点事業3事業)

評価	事業数(重点)
計画以上	14(3)
計画どおり	4(0)
計画より遅れ	3(0)
計	21(3)

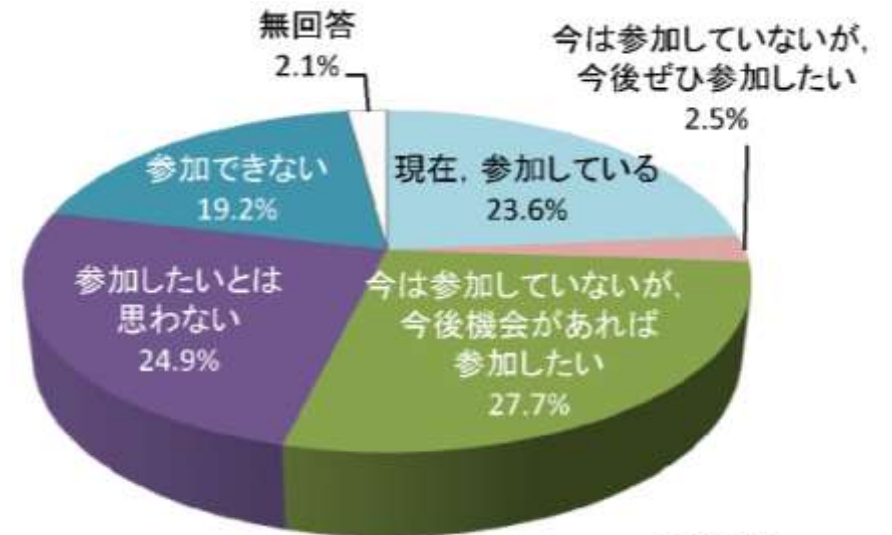
21事業のうち、
計画以上が14事業、計画どおりが4事業、計画より遅れが3事業
(100点×14+80点×4+60点×3)÷21=90.5点 ⇒ 順調

● No.44「若者ボランティア認定制度」については、制度設計に向けて検討中の事業であることから、「評価困難」とし、平均値の算出から除外する

《基本指標Ⅲ》地域に貢献する活動に参加している市民の割合

年度	R3	R5	R6	R9
目標	基準値	-	-	35.0%
実績	29.5%	23.0%	23.6%	
評価	-	※	※	

※単年度目標値を定めていないため、最終年度の令和9年度に評価を行う



基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

◆ 重点事業

施策	事業名	【事業評価】	● R6事業内容	➤ R7取組方針	進捗
⑥ 多様な主体による学習機会の提供	36 NPO・大学・企業等と連携した学習の推進	【企業等と連携した講座開催数】 R6実績：144件／目標：132件	● 大学や企業等の持つノウハウを生かした講座や、学校や企業、地域が接する学習機会を提供 ➤ 内容に応じて様々な組織と積極的に連携し、質の高い講座を提供するとともに、学習を通して学校や企業、地域が関係を深めるきっかけを作っていく		計画以上
⑦ 地域で活躍する人材の育成	41 地域の教育活動の担い手の育成	【地域における学習支援活動や体験活動等に参加している活動者数】 R6実績：30,201人／目標：28,097人	● 地域の特色を生かした多様な活動を担う人材を育成するため、放課後子ども教室のコーディネーターを対象に研修会を実施するなど人材を育成・支援 ➤ 地域によって担い手不足や高齢化が進行しているため、引き続き人材の確保に努める		計画以上
⑧ 郷土愛や地域の推進	49 地域学・宇都宮学講座等の充実	【地域学講座，宇都宮学講座等の受講者数】 R6実績：1,630人／目標：1,080人	● 生涯学習センターで開催する様々な講座において、地域理解につながる内容を取り入れ、地域に目を向ける機会を醸成 ➤ 引き続き講座等を通して、地域への興味や関心を促すとともに、受講者が地域の課題に気づき、課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付けていく		計画以上

基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

◆ 計画より遅れが生じている事業

施策	事業名	【事業評価】 ● R6事業内容 ➤ R7取組方針	進捗
⑥ 多様な主体による学習機会の提供	38 高齢者の生きがいづくりの推進 ◆ 高齢者が心身ともに健康で充実した高齢期を過ごすことができるよう老人福祉センターにおいて健康や趣味の講座、健康相談などを実施するもの	【老人福祉センター延べ利用者数】 R6実績：171千人／目標：257千人 [課題] ● 施設利用者の多くが高齢者や障がい者など感染リスクの高い方が占めているため、コロナ禍以降、施設の利用に慎重になっていると考えられるが、利用者数が回復傾向になっていることから、さらなる利用者数の増加に向けた取組が必要	計画より遅れ
		● 高齢者の健康づくりや生きがいづくりを支援するため、市内5か所の老人福祉センターにおいて、健康づくりや趣味の講座開催や、看護師による健康相談などを実施 ➤ 世代間交流事業の企画や、スマートフォン・アプリ講座、eスポーツ体験会の企画など、地域のニーズに応じた事業に取り組み、利用者数の増加に努める	

基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

◆ 計画より遅れが生じている事業

施策	事業名	【事業評価】	● R6事業内容	➤ R7取組方針	進捗
⑥ 多様な主体による学習機会の提供	40 地域スポーツクラブの育成・支援 ◆ 子どもから高齢者まで市民の誰もがスポーツに親しむことができるよう、地域スポーツクラブの設立・運営を支援するもの	【地域スポーツクラブがカバーする地域数】 R6実績：12地域／目標：39地域 [課題]	● 民間のスポーツクラブの増加や、個人で身近に行えるスポーツへの関心の高まりなどもある中、更なるカバー地域の拡大に向けた取組が必要		
		● クラブ設立に興味がある地域のスポーツ推進委員やまちづくり協議会、連合自治会へ説明会を行うなど積極的な支援を実施し、1地域増加 ● 広報誌へのクラブ紹介記事の掲載や総合型地域スポーツクラブフェスタを行うなど周知啓発活動の実施 ● すべてのクラブに対して運営の安定化に向けた補助を実施するとともに、スポーツ振興財団による支援を実施	➤ 既存クラブの活性化を図るとともに、新規クラブの立ち上げに向けて、地域住民の機運が醸成されるよう継続的に各種団体などに働きかけや課題解決に向けた助言・支援を行う ➤ 特に北西部地域体育施設の整備を契機として、篠井、富屋、国本地域のクラブ設立に向けた機運を高めていく		計画より遅れ

基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

◆ 計画より遅れが生じている事業

施策	事業名	【事業評価】 ● R6事業内容 ➤ R7取組方針	進捗
⑦ 地域で活躍する人材の育成	45 障がい者の意思疎通支援の充実 ◆ 障がい者の円滑なコミュニケーションを支援し、的確に情報を取得・伝達できるよう、手話奉仕員の養成に取り組むもの	<p>【手話奉仕員養成講座修了者数】 R 6 実績：41人／目標：63人</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 様々な機会を活用し、各種奉仕員養成講座の周知を行い、受講者の増加を図る必要がある 	計画より遅れ
		<ul style="list-style-type: none"> ● 聴覚・視覚障がい者等に対する知識や手話などの技術に精通した関係団体と連携を図りながら各種講座を実施し、奉仕員を養成 <p>➤ 奉仕員養成講座修了者数の増加を図るため、関係団体と連携し、令和7年11月に東京で開催されるデフリンピックを契機と捉えるなど、様々な機会を活用し、各種奉仕員養成講座の周知に取り組む</p>	

【令和6年度の評価】

- ・ 大学や企業，社会教育関係団体など多様な主体による学習機会の提供や，地域教育活動の担い手やボランティアスタッフなど地域で活躍できる人材の育成，「宇都宮学」など郷土愛や地域理解を促進する取組を推進したことから，21事業のうち14事業が「計画以上」となった。
- ・ 学習を通して地域と大学・企業との関係が深まったことや，地域学や環境，まちづくり，読書活動，デジタル支援など多様な分野における学習機会の提供や担い手育成に取り組んだことなどから，基本指標である「地域に貢献する活動に参加している市民の割合」が前年度と比較し増加した。

【今後の取組方針】

- ・ 地域団体や大学，企業，行政などが内容に応じて様々な組織と連携し，多様な分野における質の高い学習機会の提供に取り組む。
- ・ 地域によっては担い手不足や高齢化が進行していることから，若年世代や働き世代などに対して地域理解につながる講座などへの参加を促すと同時に，地域で活躍する人材の育成に取り組む。

基本目標Ⅳ 学習や活動に取り組める環境整備

【基本目標Ⅳ】学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める学習環境が整っています

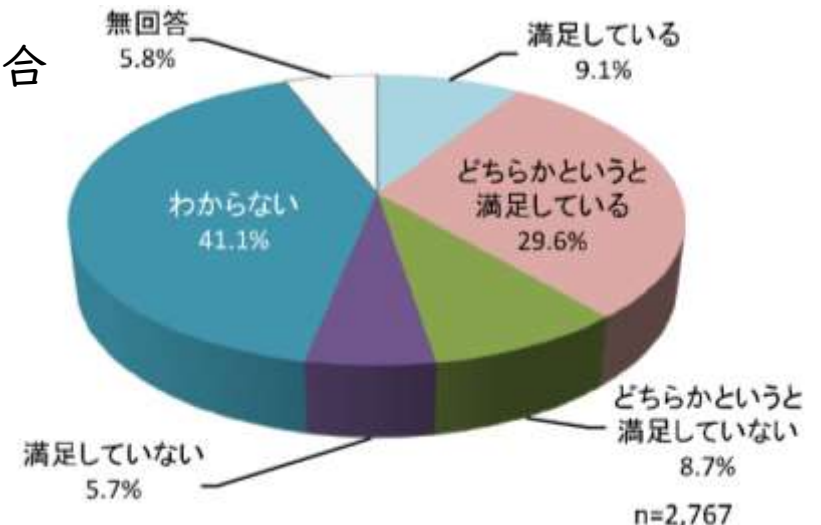
○ 基本目標の評価:2施策12事業(うち重点事業3事業)

評価	事業数(重点)
計画以上	8(1)
計画どおり	4(2)
計画より遅れ	0(0)
計	12(3)

12事業のうち、
計画以上が9事業、計画どおりが3事業、計画より遅れが0事業
(100点×8+80点×4+60点×0)÷12=93.3点 ⇒ 順調

《基本指標Ⅳ》学習や活動を行う機会や環境に満足している市民の割合

年度	R3	R5	R6	R9
目標	基準値	30.0%	35.0%	50.0%
実績	—	36.6%	38.7%	
評価	—	順調	順調	



出典：市政に関する世論調査結果報告書（令和6年度）

基本目標Ⅳ 学習や活動に取り組める環境整備

◆ 重点事業

施策	事業名	【事業評価】	● R6事業内容	➤ R7取組方針	進捗
⑨ 学習や活動を促進する環境づくり	55 生涯学習センター施設、図書館施設の利用促進	<p>【生涯学習センター，図書館の利用者数】 R 6 実績：528,883人／目標：525,000人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設利用者の利便性向上につながる令和7年度からの公共施設予約システムの運用開始に向け，モデルセンターでの試験的な導入をとおした検討を行った ● 図書館においては，「うつのみやこども賞40周年記念事業」として記念式典の開催や全図書館で巡回展などを実施するとともに，ライトライン開業1周年記念事業として記念しおりを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 円滑なシステム運用を図りながら各センターや関係課と連携を図りながら施設の利用促進につなげていく ➤ 引き続き，生涯学習センターや図書館における幅広いテーマ・対象の講座や企画などを実施していく 	計画以上
	56 視覚障害者等の読書を支える図書館サービスの充実	<p>【アクセシブルな（視覚障がい者等が利用しやすい）資料数】 R 6 実績：16,551点／目標：16,400点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音訳・点訳資料の作成のほか，一般書籍が読みにくい人向けの大活字本などアクセシブル資料を収集し，老人福祉センターでのPRや，子ども発達センターへの団体貸出の実施 ● 子ども向けのアクセシブル資料を集めた「りんごの棚」コーナーを全図書館に設置し，PRチラシを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新たに布絵本を導入し，アクセシブル資料の充実を図る 	計画以上

基本目標Ⅳ 学習や活動に取り組める環境整備

◆ 重点事業

施策	事業名	【事業評価】	● R6事業内容	➤ R7取組方針	進捗
⑩ 学習活動を支える機能の充実	60 図書館レファレンスサービスの利用促進	【レファレンスサービスの満足度】 R 6 実績：89.8%／目標：100%	● 国立国会図書館運営の「レファレンス協同データベース」に本市の事例を新たに8件公開	➤ レファレンス記録方法の見直しを図り，過去の事例を活用しやすい環境を整備	計画どおり
		● 国立国会図書館運営の「レファレンス協同データベース」に本市の事例を新たに8件公開	● レファレンス記録方法の見直しを図り，過去の事例を活用しやすい環境を整備	➤ 市民や地域の課題解決の支援につながるよう，データベースやパスファインダー（調べ方案内）等の役立つツールの認知度を上げ，利用促進を図る	

◆ 計画より遅れが生じている事業は無し

【令和6年度の評価】

- ・ 学習や活動に取り組める環境整備に向けて、図書館で施設照明のLED化を進めたほか、企業・団体と連携し、ビジネス活動に必要な図書資料・情報の提供などに積極的に取り組んだことから12事業のうち9事業が「計画以上」となった。
- ・ 令和7年度からの「公共施設予約システム」導入に向け、一部の生涯学習センターにおいて、市民が貸館状況をオンラインで確認できる仕組みを試験的に導入したほか、生涯学習活動団体の日頃の学習成果の発表機会を創出するため、全ての生涯学習センターで文化祭を開催し、図書館では子ども向けのアクセシブルな資料を集めた「りんごの棚」コーナーを全館に設置するなど、学習環境の向上に資する取組をすすめたことに伴い、基本指標「学習や活動を行う機会や環境に満足している市民の割合」が増加し、目標値を上回った。

【今後の取組方針】

- ・ 基本目標Ⅳの実現に向けては「学習と活動の循環」を促していく必要があるため地域の学習や活動の拠点である生涯学習センターや図書館などの社会教育施設において、多様な学習機会の創出や、資料の充実、活動場所の提供等に取り組む。
- ・ 令和7年4月から運用開始した「公共施設予約システム」は、生涯学習センター等の空き状況確認・予約・使用料のオンライン決済等の機能を持ち、市民の利便性向上と生涯学習センターの利用促進につながるものであることから、若年世代など新たな利用者層の掘り起こしに向けて、システムの周知啓発に取り組む。

		基本目標Ⅰ	基本目標Ⅱ	基本目標Ⅲ	基本目標Ⅳ	全体
施策事業	点数	95.0	90.0	90.5	93.3	92.2
	評価	順調	順調	順調	順調	順調
基本指標		順調	順調	—	順調	順調

計画全体の評価

- 令和6年度の実績評価は、全体を通して「順調」となった。
- 基本目標ごとに、事業全体を通し、後期計画の3つの特徴である「デジタルの活用と地域共生社会」「読書活動の推進と課題解決力の向上」「大学・企業等との連携と人材育成」について、引き続き、個別の施策事業に取り組む際の共通テーマとし、事業を推進していく。

5 議事

協議事項(1)令和7年度栃木県社会教育委員協議会

理事及び評議員の選出について

協議事項(2)「うつのみや人づくり推進委員会」への

委員の推薦について

栃木県社会教育委員協議会会則第9条に基づき、本市社会教育委員の会議から委員を選出することとなっている。

1 役割 県及び市町村の社会教育委員相互の緊密な連携を図り、県社会教育の振興に寄与することを目的として、社会教育委員の研修、調査等の事業を実施する。

2 任期 1年

3 選出委員 理事1名 評議員1名（理事は評議員を兼任することができる）

理事： _____

評議員： _____

(2)「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について

社会総ぐるみによる人づくりの推進を図るため、学校、家庭、地域、企業の各関係団体等から推薦された委員により構成する委員会。

1 役割 「うつのみや人づくりフォーラム」に関すること及び、各団体間の連携促進に関すること、社会総ぐるみによる人づくりの機運醸成に係る審議等を行う。

2 任期 1年

3 推薦委員 1名

推薦委員：

6 その他

(1) 「宇都宮市電子図書館」

児童書読み放題パックの導入について

「宇都宮市電子図書館」児童書読み放題パックの導入について

◎趣旨

令和5年度からサービスを開始している「宇都宮市電子図書館」に、7月1日から、新たに小・中学生向けの児童書「読み放題パック」を導入したことを報告するもの

Ⅰ 「宇都宮市電子図書館」について

【利用対象者】

- ・ 宇都宮市内に在住・在勤・在学で、図書館利用カードをお持ちの方（電子図書館の登録が必要）

【これまでの実績（R7.3.31現在）】

- ・ 利用登録者数 16,514 人
- ・ 貸出回数(累計) 25,296 回
- ・ 公開タイトル数 1,478 点(内児童書386点)

【電子図書館の特徴】

- ・ 24時間いつでもどこでも読書が楽しめる
- ・ 公開タイトルのうち3割以上に音声読上げや文字拡大機能があり、紙の本での読書が苦手な方にも対応



<https://web.d-library.jp/miyalib/g0101/top/>

「宇都宮市電子図書館」児童書読み放題パックの導入について

2 児童書読み放題パックについて

(1) 目的

- ・中学生以上は、勉強や部活動などで、図書館への来館機会が減少するとともに読書量が低下する傾向にあるため、中学校入学前の小学校高学年以上を主な対象とすることで、読書習慣の定着を促し、中核市トップレベルの読書活動を更に推進していきます。

(2) 特徴

- ・他の電子書籍や紙の本と異なり、人数制限なく“いつでも・待たずに・何人でも”利用が可能
- ・読書の楽しみを知る入り口となるような、子どもに人気の児童文学や図鑑、教養書などを提供
- ・市立小学校4年生から中学校3年生までの全員（約26,000人）に高校卒業まで利用できる「読み放題パック」専用IDを配付

(3) 利用方法等

- ・配布された専用IDを用いてすぐに利用可能
- ・図書館利用カードを作ると「読み放題パック」以外の電子書籍も読むことが可能（オンラインまたは図書館、生涯学習センター等の窓口でお申し込みください。）

(4) サービス開始日

7月1日（火）～



【参考】児童書読み放題パック一覧

No	パック名	作品数	ジャンル	主要な対象
1	講談社「青い鳥文庫」(人気シリーズ作品) 子どもに人気の児童文学のシリーズ作品から1・2冊を提供したパック	100	小説	小学校高学年
2	集英社「ジャンプジェイブックス」パック 「SPY×FAMILY」「鬼滅の刃」「呪術廻戦」など、人気漫画のノベライズ(小説化)作品のパック	25	小説	小学校高学年 ~中学生
3	GAKKEN「自然科学」図鑑パック 自然科学系図鑑のポケット版などのパック	22	自然科学	小学校高学年
4	筑摩書房 プリマ―新書パック ヤングアダルト(中高生)向けに普遍的でベーシックなテーマを扱った各専門分野の入門書のパック	50	教養	中学生~
5	メイツユニバーサルコンテンツ 中学生向け教養パック イラストや図を豊富に使用した読みやすい教養書・実用書のパック	20	教養・実用	小学校高学年 ~中学生



講談社
「青い鳥文庫」
(人気シリーズ作品)



GAKKEN
「自然科学」
図鑑パック



メイツ
ユニバーサル
コンテンツ
中学生向け
教養パック

©「LibrariE」搭載コンテンツ

5パック 合計 217作品

6 その他

(2) 令和8年宇都宮市二十歳を祝う
成人のつどいの開催概要について

令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの開催概要について

<p>開催日</p>	<p>令和8年1月11日（日）</p>	
<p>時間</p>	<p>午前開催</p>	<p>午後開催</p>
	<p>午前10時～12時</p> <p><14中学校区></p> <p>旭・陽南・星が丘・陽東・宮の原・瑞穂野・豊郷・晃陽・姿川・雀宮・鬼怒・上河内・古里・河内中学校区</p>	<p>午後2時～4時</p> <p><11中学校区></p> <p>一条・陽北・陽西・泉が丘・清原・横川・国本・城山・宝木・若松原・田原中学校区</p>
<p>該当者</p>	<p>令和2年度中学校卒業生（令和3年3月卒） 平成17年4月2日から平成18年4月1日の間に生まれた方</p>	

令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの開催概要について



**宇都宮市
二十歳を祝う
成人のつどい**

2026年
1月11日(日)

対象者

平成17年4月2日～
平成18年4月1日に
生まれた人

参加方法について

参加を希望する方は、宇都宮市ホームページより
参加申込をお願いします。
※令和7年11月1日現在で市内に住民登録している
人には、11月に案内状を送付します

お問い合わせ先
宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課
☎028-632-2678

令和8年宇都宮市三十歳を祝う成人のつどい 会場一覧

開催日	午前の部	午後の部
令和8年1月11日(日)	受付：午前 9時30分～ 式典：午前10時00分～	受付：午後1時30分～ 式典：午後2時00分～

午前の部	会場	フロア	部屋
旭中学校区	ライトキューブ宇都宮	1F	大ホール 西
陽南中学校区	ベルヴィ宇都宮	4F	ヴァーグテリス
星が丘中学校区	東武ホテルグランテ	6F	龍田
陽東中学校区 宇都宮東高等学校附属中学校	ライトキューブ宇都宮	3F	中ホール
宮の原中学校区	ライトキューブ宇都宮	1F	大ホール 東
瑞穂野中学校区	ヒルズスイーツ宇都宮 ブリーズテラス	1F	セイシェル
豊郷中学校区	ホテル東日本宇都宮	3F	大和 東・南
亮陽中学校区 栃木県立富屋特別支援学校	コンセーレ	1F	大ホール
妻川中学校区	ホテルニューイタヤ	本館3F	天平の間
雀宮中学校区	ホテルニューイタヤ	南館4F	桜の間
鬼怒中学校区	ライトキューブ宇都宮	2F	大会議室
上河内中学校区	ホテル マインテイズ宇都宮	11F	グランド ボールルーム
古里中学校区	ホテル東日本宇都宮	3F	大和 西
河内中学校区 栃木県立岡本特別支援学校	ホテル東日本宇都宮	3F	日光

午後の部	会場	フロア	部屋
一条中学校区	ライトキューブ宇都宮	1F	大ホール 西
陽北中学校区 栃木県立のぞわ特別支援学校 栃木県立わかき特別支援学校	ホテル東日本宇都宮	3F	大和 東・南
陽西中学校区 作新学院中等部 宇都宮短期大学附属中学校 文星芸術大学附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	ライトキューブ宇都宮	1F	大ホール 東
泉が丘中学校区	ライトキューブ宇都宮	3F	中ホール
清原中学校区 宇都宮海星女子学院中学校	ライトキューブ宇都宮	2F	大会議室
横川中学校区	ヒルズスイーツ宇都宮 ブリーズテラス	1F	セイシェル
国本中学校区	ホテル東日本宇都宮	3F	大和 西
楯山中学校区	コンセーレ	1F	大ホール
宝木中学校区 宇都宮大学共同教育学部附属中学校	東武ホテルグランテ	6F	龍田
若松原中学校区	ベルヴィ宇都宮	4F	ヴァーグテリス
田原中学校区	ホテル東日本宇都宮	3F	日光

高校生のみなさん！

二十歳を祝う成人のつどい (成人式)

アンケート調査へ ご協力をお願いします！



宇都宮市では「二十歳を祝う成人のつどい」(成人式)の開催について、将来に向けた見直しを行っています。成人のつどいをより良いものにするため、これから二十歳を迎えるみなさんのご意見を是非お聞かせください。



問合せ 宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課
☎028-632-2748

令和7年6月発行

こちらのQRコードから
アンケートフォームへ
アクセスできます



6 その他

(3) 今後のスケジュールについて

- 令和8年2月 第2回社会教育委員の会議
 - ・ 令和8年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について
 - ・ 令和8年度 社会教育関係団体に対する補助について など

7 閉会